

ローマ大学サピエンツァ校  
ヨーロッパでのアジア共同体特別講座  
実施期間：16年10月～17年3月

- 第1回 「アジアのメディア社会における宗教言語のコード切り替え」  
(10月06日) Antonetta L. Bruno (サピエンツァ校イタリア東洋研究所、教授)
- 第2回 「韓国のキリスト教とアジア共同体の福音メディア」  
(10月13日) Harkness Nickolas (ハーバード大学、韓国“アイディア”記号学、准教授)
- 第3回 「越境文化制作と東アジアの国家的物語：アジア共同体の一例としての韓国ポップカルチャー」  
(10月20日) Jang Soohyun (光雲大学、人類学/中国・朝鮮研究、教授)
- 第4回 「北東インドにおける韓流を通じてのアジア共同体スペースの創設」  
(10月27日) Mara Matta (サピエンツァ校、アジア研究、研究員・講師)
- 第5回 「ナショナル・ジオグラフィックによるアジア拝見：朝鮮の事例」  
(11月03日) Kim Young Hun (梨花女子大学国際研究大学院、教授)
- 第6回 「アジア共同体の面影：現代ラオスにおけるベトナム戦争の形跡」  
(11月10日) Paolo Barberi (伊フェラーラ大学、人類学研究、助手)
- 第7回 「韓流をつうじての、韓国とアジア諸国の文化交流」  
(11月17日) Yang Yong Kyun (韓国学中央研究院、人類学、教授)
- 第8回 「アジア共同体の歴史的観点における朝鮮の“国”とナショナリズム」  
(11月24日) Carter J. Ecker (ハーバード大学、朝鮮史、教授)
- 第9回 「高句麗壁画画像分析における新見解とアジア共同体の出会い」  
(12月01日) Andrea De Benedittis (ヴェネツィア大学、朝鮮研究、助教授)
- 第10回 「朝鮮古代史における文化流入/多文化：百済ソソノ女王の研究事例」  
(12月15日) Youngsoon Kim (仁荷大学、教授)
- 第11回 「ソリンギ將軍と Caule について」  
(12月22日) Maurizio Riotto (ナポリ大学東洋研究所、朝鮮研究、教授)
- 第12回 「アジア共同体の視点からする日本アニメ」  
(3月02日) Maria Roberta (ヴェネツィア大学、日本映画・アニメ、准教授)
- 第13回 「中国都市化の現場研究、アジア共同体の反射性を高めるメディアと技術」  
(3月09日) Valentina Anzoi (ヴェネツィア大学研究助手、ユーロエイド事業)
- 第14回 「大局的に見た習近平とアジア共同体にとっての意味」  
(3月16日) Hugo de Burgh (ウェストミンスター大学中国メディアセンター、教授)
- 第15回 「東アジア世界秩序の解消とアジアのアイデンティティ：外因性・内因性のパースペクティブ」  
(3月23日) Rosa Caroli (ヴェネツィア大学、比較言語・文化学部、日本歴史、准教授)

第 16 回 「アジア人として」(未確定)  
(3 月 30 日) Chun Jung-gon

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。